

講義名称	日本教育論	担当教員名	高山 有紀
科目群	人文学 (HUM)		
科目区分等	教育	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	HUM121

授業のキーワード	公教育制度、子どもの荒れ、教育改革
授業の概要	各種教育機関（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学）で問題化しているテーマを中心に、次代を担う子どもや若者に影響を及ぼす、学校教育の現状について学びます。
期待される学習成果（目標）	1、教育に関わる用語を理解できるようになります。 2、自身の被教育体験と社会との関係について知ることができます。 3、今後の学校教育について、あなたなりの意見を持つことができるようになります。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	はじめに	授業の進め方について説明します。
2	幼児教育①	幼稚園・保育所をめぐる問題と幼児教育の現状について学びます。
3	幼児教育②	幼稚園・保育所をめぐる問題と幼児教育の現状について学びます。
4	小学校①	「小1プロブレム」やいじめについて考えます。
5	小学校②	新学習指導要領を通じて、小学校教育について考えます。
6	小学校③	学校選択制や小中一貫教育など、小学校をめぐる動きについて学びます。
7	中学校①	「中1ギャップ」や不登校について学びます。
8	中学校②	学力低下問題など、中学校をめぐる様々な問題について考えます。
9	中学校③	キャリア教育を含め、中学校をめぐる新しい動きについて考えます。
10	中間のまとめ	前講までの学習内容をふまえ、義務教育の意義について考えます。
11	高等学校①	中高一貫教育のメリット・デメリットについて考えます。
12	高等学校②	高校の多様化について学び、中等教育の意義について考えます。
13	大学・短大①	「大学の大量化」を受けた、大学改革の動きについて学びます。
14	大学・短大②	短期大学の歴史を振り返り、高等教育の意義について考えます。
15	まとめ	本講での学習内容を総括します。

定期試験	授業で扱った教育問題をひとつ選び、レポートを作成します。
評価方法	授業への取り組み（リアクションペーパーの内容を含む）20パーセント、試験（ミニテストとレポート）80パーセント
使用する教科書（必ず購入してください）	プリントを配布します。
参考文献	尾木直樹『子ども格差 一壊れる子どもと教育現場一』（岩波新書） 市川伸一『学力低下論争』（ちくま新書） 本田由紀『学校の「空気」』（シリーズ若者の気分）岩波書店